



自学・敬愛・誠実

# 三原の嶺より

## ◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和5年12月20日（令和5年度 第8号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校  
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

## ありのままの自分で

校長

12月5日（火）第38回大島町立小・中学校連合音楽会が大島町開発総合センターで開催され、本校の1・2年生が日頃の授業を含めた音楽活動の成果を発表しました。1年生はハーモニーが良く、2年生は声量もあり表現力の素晴らしい合唱を披露し、特に1・2年合同の「大島よ、いつまでも」は観衆を魅了し、中学生の部の締めくくりとして立派にその責務を果たしてくれました。これも一中祭での取組だけではなく、一年間を通して校歌・応援歌を大切にし、歌声の響く第一中学校の校風からくるもので、全力は美しい！全力は気持ちいい！全力は感動！を体現してくれました。

さて、12月11日（月）の朝礼で図書室にある絵本『カーくんと森のなかまたち』を制作した絵本作家夢ら丘実果（むらおか みか）さんのドキュメントを見てもらいました。幼少の頃から体が弱く学校を休みがちだった夢ら丘さんは、勉強に遅れないようにと学習に励みます。その結果、成績が向上しましたが、逆にそれが周りからの嫉妬につながり小学校時代にいじめを受けてしまいます。心に傷を負った夢ら丘さんでしたが、中学校時代に出会った美術科教師の影響で将来への希望が生まれ、画家の道に進みます。周りからの評価も高く個展を開くなど順風満帆な人生を送っていましたが、交通事故で右半身が思うように動かなくなり自暴自棄になってしまいます。それを救ってくれたのが娘さんで、夢ら丘さん自身の苦しい気持ちを伝えたことがきっかけで立ち直ることができ、6年をかけて作り上げたのが『カーくんと森のなかまたち』の絵本です。

『カーくんと森のなかまたち』は自殺対策・予防医学の専門家たちの監修により制作されたものでもあります。夢ら丘さんはこの本を制作しただけではなく、心の健康のための事業として、かけがえのない命の尊さを伝えるとともに、「いじめは絶対にいけない」という心、自分を大切に思う自己肯定感や自己有用感を育み、心の病気、自殺を予防することを目的に全国の小中学校で絵本読み聞かせの授業を実施しています。

絵本のあらすじは、島の学校の友達と自分を比較して劣等感をもち、心の病気になりかけていたホシガラスのカーくんが、先生や仲間たちに悩みを打ち明けて話を聴いてもらい、周囲の皆に助けられ、元気、自信を取り戻していきます。カーくんは自分に価値が無いと思い込み絶望的になり、うつ状態になっていましたが、友達との触れ合いの中で自分の良さや周囲の愛に気づき、次第に元気になっていくというものです。人にはその人にしかできないこと、良いところが必ずあります。

ありのままの自分。それは「他者評価を気にせず、本音や個性を認めている状態」のことです。“自分”という存在は一生付き合っていくしかない一番のパートナーでもあります。そんなパートナーのことを受け入れ、手を取り合って生きていけば、自分に合った心地良い人生を築くことができるのではないのでしょうか。

年末年始は一年の節目でもあります。家庭での役割をしっかりと果たしながら落ち着いた中で一年を振り返り、新たな目標を立てさせたいものです。新年もどうぞよろしくお願いたします。



# 第50回 一中祭 11月18日(土)

『Catch your Heart!!!～あなたの心も涙も奪っちゃうよ～』というスローガンを掲げ、一中祭活動は始まりました。一中祭実行委員はこのスローガンに次のような思いを込めました。「!」の数は昨年度のスローガンから一つ増えました。これには過去の一中祭を超えたいという思いが込められていました。「Catch your Heart」では、本来なら「touch your heart」が正しい使い方、「感動させる」という意味があります。あえて「touch」を「catch」にすることで自分たちの力で来てくれた人々を感動させるという意志を示しました。今回の一中祭はスローガンにあるように一中生全員の力とこれまでの努力で涙も心も奪われるような感動的な一中祭となりました。委員会活動なども後期から2年生へと代替わりをし、一中祭も2年生を中心に運営が進んでいきました。生徒が主体となって学校行事を運営していくことは、上手いかないことも多く、苦勞したこともあったと思います。しかし、最後までやり切ったからこそ、感動が生まれました。まさに「全力は感動」です。一中祭が終わった後の生徒の表情からは「やり切った」という満足感がありました。一中祭が終わったばかりで時期尚早ではありますが、来年度の一中祭も「全力は感動」「やり切った」が伝統として引き継がれるような一中祭になることを期待しています。(文責：一中祭担当)

## 【弁論大会】

最優秀賞



最優秀賞  
優秀賞  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

「生きるという行為の意味」  
「ラジオ体操という文化は必要か」  
「校則はなぜあるのか」  
「自然との共鳴共感」  
「何度も言われたこと」  
「パスカル」  
「私は私」  
「自分の性別と向き合う」  
「抜け道」



今年もレベルの高い弁論発表会となりました！

## 【合唱発表会】

<大島よ、いつまでも>

「毎年聞きに来ます」と言ってもらえる一中の伝統となりました。



<1年生 Believe>



<2年生 空は今 あなたへ>



<3年生 花は咲く>



## 【美術部発表】

今年度の映像ワークショップは「大島のおすすめスポットを紹介する旅番組」というコンセプトで制作を進めました。東京工芸大学芸術学部映像学科の李教授とゼミ生（大学生）とオンラインミーティングを重ね、絵コンテを1から描くところから映像を作っていました。ロケ当日は、何テイクも撮り直し、納得するまで撮影を行いました。

一中祭当日は、撮影クルーに扮してステージに立ちました。多くの保護者・地域の皆さんに見守られ、発表をすることができました。温かい拍手や感想をいただき、ありがとうございました。

無事に一中祭を終えることができて良かったです。今回は初めてのことがたくさんありました。特に発表する前の演劇は印象に残っています。セリフや衣装にもこだわり、去年よりもコミカルに発表できたのではないかと思います。また、3年生最後の活動ということもあり、一中祭前に体調不良者も増えていたのですが、本番では全員で出られて良かったです。発表も見ている人たちを意識し、少し緊張しましたが十分に伝わったと思います。2学期の忙しい中、ここまでのクオリティーにできたのは一年生や三年生、先生方、大学の皆さんのおかげだと思います。今年は2年生という中心として取り組みましたが、来年は3年生です。今年の発表を超えられるように精一杯取り組みたいです。

(美術部 2年)



## 【吹奏楽部発表】

私は、この一中祭を以て3年間の部活を終えました。正直、3年間一人で寂しいと感じることもや、先生が変わることも多く不安になることもありました。ラストステージをクラスメイトはじめ、先生方など様々な人に協力していただき、華やかに飾れたことがとても嬉しかったです。また、少ない人数ではありましたが、いつも支えてくれる先生方、慕ってくれる後輩と共に部活動ができて良かったです。最後に、3年間何度も演奏会に来て見守ってくださった皆様、ありがとうございました。

(3年)

今年の中祭はとても忙しかったですが、それ以上に楽しかったです。莉乃さんが引退し、自分が部長となり新しい代が始まります。自分の役割や責任をしっかりともち、活動をしていきたいです。これからいろいろな行事で吹奏楽部が関わっていくと思いますが、よろしくお願ひします。

(2年)

2回目の一中祭は、昨年以上に本気で取り組みました。その理由は、2年間お世話になった莉乃さんの最後の舞台だったからです。とてもお世話になった分、莉乃さんがいなくなるのは不安ですが、莉乃さんのような先輩になれるようこれからも頑張ります。

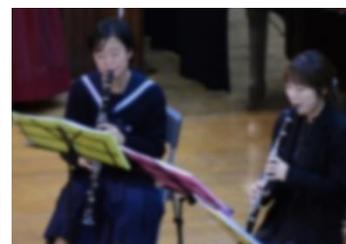
(2年)

今年の中祭は昨年より緊張を感じず、自分たちの成長を感じました。莉乃さんから学んだことを生かし、新たな期待を胸に頑張っていきます。自分は嫌なことから逃げないように勇気を出して頑張っていきます。

(2年)

初めての中祭だったので、分からないことが多くて緊張しました。全校生徒の前での演奏も初めてでした。来年はおそらく新入生が入部し先輩になるので、今回のことを覚えておいて来年に生かしたいです。

(1年)



## 第38回大島町小・中学校 連合音楽会 12月5日(火)

読んで字の如く「怒涛」の2学期。その有終の美を飾るのが12月5日(火)に行われた文化行事、連合音楽会でした。今年は、念願叶って開発総合センターで大勢の観客の前で合唱することができました。音楽の醍醐味の一つに「ライブ感」があります。特にスピーカーを通さずに奏でるオーケストラや合唱などは、音の立体感や音圧など生でしか味わえない良さを久しぶりに十分に味わう事ができたように思います。

今回の一中の出番は3校ある中学校の最後でしたが、プレッシャーを全く感じさせない一中生らしい堂々と自信に満ちた合唱を披露してくれました。また、どの学年も一中祭を上回るほどの合唱で、聴く人の心を魅了していました。どの生徒も全力を出しきって歌えたというとても誇らしげで達成感のある表情をしていました。

終演後には「一中生の演奏を聴いて温かな気持ちになった」「合唱で泣くとは思わなかった」と感無量の言葉をいただきました。音楽はいつも心と共に在ります。そして豊かな心は音楽に必要不可欠です。これからも日々子供たちの心に寄り添った指導をしていきたいです。会場に足をお運びいただいた皆様、本当にありがとうございました。(文責：音楽科)



## 東京都大島支庁出前授業(道徳) 12月13日(水)

「支庁のお財布見せちゃいます」というテーマで、大島支庁の職員の皆様にお話を伺いました。大島支庁がどこにあるかは全員が知っていますが、大島支庁の建物に入ったことがある人、大島支庁でどんな仕事をしているかを知っている人は数名しかいませんでした。

授業の最初に大島支庁内にどんな仕事があるかを説明してもらい、今年度200億円の予算配分をグループで予想しました。大島という土地柄、港湾課と土木課に多くの予算が割かれていることを知り、驚きの声が聞かれました。また、予算配分を通して、地域の人のことを考えて仕事をすることを学びました。

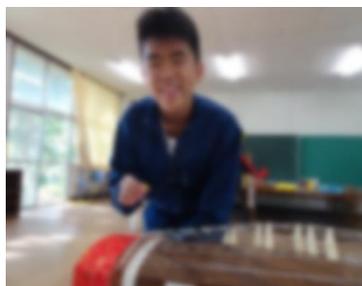
授業の中で「自分から積極的に行動したことは後で役に立つこと」「夢や目標をもって行動することで身に付く力に差が出ること」などを聞きました。今回の学習を通して、様々な職業について興味をもち、進路選択の一助になれば幸いです。(文責：道徳担当 牧野 優樹)



## くろしお学級のコーナー

### 一中祭 くろしお発表

今年度は「成長」をテーマに発表しました。一中祭に向けて箏と太鼓の練習や「くろしお音頭」の制作をしました。全校生徒の協力のもと作成したお神輿もとても素敵に仕上がりました。校内に限らず地域との関わりも広げた3年間。その集大成をくろしお発表で披露できたのではと思います。今後の成長にご期待ください。



#### くろしお音頭 (作詞・作曲 くろしお学級)

① くろしお学級 のんびりと 慌てず急がず いきましょう  
あなたと私 手をとって 一歩ふみしめ また一歩  
くろしおは よいところ くろしお音頭

② くろしお学級 仲良して 困ったときは 助け合い  
あなたと私 やってみよう もっと笑顔に なるでしょう  
くろしおは よいところ くろしお音頭

③ くろしお学級 頑張ろう いつでも笑顔で 前向きに  
あなたらしさを 忘れずに 輝く未来へ また一歩  
くろしおは よいところ くろしお音頭



### 南部校外学習

12月7日(木)に校外学習へ行きました。



貝のジェルキャンドル作り



好きな料理を注文しました



白熱したボウリング



トウシキで凧揚げをしました

# 冬休み中の生徒指導(保護者・地域の皆様へお願い)

第一中学校では冬休みの過ごし方について下記の資料を基に生徒への指導を行います。年末年始も健全な生活を送れるよう、皆様にも休み中の一中学生を見守っていただくと幸いです。

## 家庭・地域生活での心得

- 1 家族や地域社会の一員であることの自覚をもち社会生活のよき体験の機会としよう。
  - ①自ら進んで仕事を分担し、家事の手伝いなどを積極的に行おう。
  - ②地域社会の一員として、ルールやマナーを守り、進んで地域の活動に参加しよう。
- 2 規則正しい生活をしよう。
  - ①計画表や日課表をつくり、毎日の生活を規則正しいものにしよう。
  - ②自分に合った実行可能な計画を立て、冬休み全体を通じての目標を決め、それを達成できる努力をしよう。
  - ③毎日の生活のけじめをつけるために、日記や学習記録などを付けて一日を振り返り、翌日以後の生活や学習に生かせるよう工夫しよう。
- 3 健康・安全に気を配り、一中学生にふさわしい日々を送ろう。
  - ①年末年始は交通量も多くなります。交通ルールを守り、安全な生活を心がけよう。
    - ・自転車の二人乗りやバイクなどに安易に同乗しない。
    - ・自転車の無謀運転はしない。車輪の巻き込みにも注意する。
    - ・路上での遊びは避ける。
  - ②飲酒・喫煙は法律に触れる行為です。誘われても絶対に断る。
  - ③外泊は禁止です。
    - ・暗くなったら家に帰り、子供だけの外出はしないのが常識ある行動です。思わぬ事故や事件に巻き込まれたり、非行につながるおそれがあるのでしないこと。

**22時以降の夜間徘徊は補導の対象となります。**

  - ④島外旅行は、責任のある人の下で行うようにする。
    - ・友達同士での旅行はしない。
  - ⑤中学生はアルバイトできません。
  - ⑥外出するときには、危険を避ける意味からも中学生らしい服装を心がけよう。
  - ⑦この時期は、生活が不規則になり健康を害しやすいので、十分な睡眠と栄養、適度な運動を心がけよう。
  - ⑧火遊びなどは、火災につながるのでやめよう。
  - ⑨小学校のグラウンド、他校の施設、開発センター等の公共の施設、地域の公園やお店などを利用する際は、使用させてもらうことをきちんと断り、マナーを守って利用すること。入ってはいけない場所、使ってはいけない物等、ルールを守り、使用後はゴミの始末などを徹底すること。他の利用者への配慮もできる一中学生であろう。
  - ⑩携帯電話、インターネットや電子メールに関わる事件やトラブルが急増しています。利用する際は、ルールやマナーを守り、犯罪やトラブルに巻き込まれないよう十分に注意しよう。また、個人的な情報を流したり、知らない相手とのやりとりをしないようにしよう。
- 4 金銭は計画的に価値ある使い方をしよう。
  - ①お年玉など小遣いの多くなる時です。見通しをもって計画的に使うように心がけよう。
  - ②友達同士での金銭の貸し借りはトラブルの原因となるのでしない。
- 5 その他
  - ①事故等にあった場合は、学校に電話連絡すること。
  - ②12月29日から1月3日まで学校施設は利用できません。
  - ③「一年の計は元旦にあり」です。若者らしい活気ある日々を送るためにも、目標を高く掲げよう。



## 笑顔と学びの体験活動プロジェクト

12月4日（月）に笑顔と学びの体験活動プロジェクトが行われました。バレーボールの元日本代表選手大山加奈さんに来ていただき、講演会と実技体験会を行っていただきました。講演会は『夢をもつことの大切さ』というテーマで、大山選手の実体験を中心にお話をさせていただきました。また、生徒からの質問にも一つ一つ丁寧に答えていただき、たくさんの励ましの言葉やアドバイスをさせていただきました。実技指導では、生徒一人一人がバレーボールを楽しみ、体育館全体が笑顔でいっぱいになりました。会の最後に感謝の気持ちを込め、生徒全員で「大島よ、いつまでも」を歌い、歌のプレゼントをしました。短い時間でしたが、とても貴重な時間となりました。大山加奈さん、本当にありがとうございました。（文責：体育科）



## お知らせ

- ① 本校では、保護者の皆様のご協力を得て体罰や暴力のない学校づくりを目指しています。生徒が安心して学校生活ができるよう、朝礼において「体罰」について触れ、各学級においてアンケートを実施しました。また、体罰防止の教員研修も実施しております。お子様について心配なことがあればいつでもご相談ください。
- ② 12月29日（金）より1月3日（水）まで学校は閉庁日となり、教職員は不在となります。警備員は常駐しておりますので、緊急のご連絡は学校の方へお願いいたします。また、学校施設の一般開放は原則としていたしません。

## 1月行事予定

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 9日（火）始業式             | 22日（月）1・2年三送会合同集会          |
| 10日（水）避難訓練           | 26日（金）1年職場訪問⑤⑥ 都立推薦入試（1日目） |
| 11日（木）3年学力テスト        | 27日（土）都立推薦入試（2日目）          |
| 12日（金）都立推薦出願 天文学講座⑤⑥ | 30日（火）脊柱側彎検診               |
| 15日（月）心理士来校          | 31日（水）～2月6日（火）都立一般出願       |
| 18日（木）～20日（土）2年移動教室  |                            |
| 19日（金）～23（火）連合作品展    | SC出勤日 12日（金）・19日（金）・26日（金） |